

# Queen Rock Montreal cine sound ver.

2008(平成20)年7月3日鑑賞(試写会・梅田ブルク7)

★★★★



出演＝Queen (ボーカル、ピアノ、ギター＝フレディ・マーキュリー／ギター＝ブライアン・メイ／ドラム＝ロジャー・テイラー／ベース＝ジョン・ディーコン) (ティ・ジョイ、クラスアクト配給／1981年ライブ映像 [cine sound ver.] /95分)

……「Queen」の最盛期である1981年11月のライブが、今大音響と圧倒的な迫力でスクリーン上に！ Queen ファンのみならず、Queenをよく知らない私でも、その感想は「すばらしい！」の一言。95分間の圧倒的なライブを楽しもう。

◆ 私が今迫力ある大音響の中、大スクリーンで観ているのは、1981年11月にカナダのモントリオールで行われたイギリスのロックグループ「Queen」による迫真のライブ映像。最近私は演劇と映像が融合した新しいエンタメである「ゲキ×シネ」による『メタルマクベス』(07年)、『髑髏城の七人～アカドクロ』(04年)、『髑髏城の七人～アオドクロ』(05年)、『SHIROH』(05年)にはまっている。

そんな「ゲキ×シネ」に対して、「cine sound ver.」とは「映画館の大音響とコンサートがMIXして、ボディに響くサウンドシャワーをハイクオリティに体験させてくれる」もの。また、大スクリーンで観ているのは、全編35ミリフィルムをデジタル・リマスタリングしたHD映像。こんな『Queen Rock Montreal cine sound ver.』なら、ホンモノのライブを遠くから観たり、聴いたりするよりよほど魅力的。

◆ ネット情報によれば、リードボーカルのフレディ・マーキュリーは1991年に死去したが、「Queen」の名前による活動は断続的に続いていたとのこと。また、ベースのジョン・ディーコンが引退した後も、ギターのブライアン・メイとドラムスのロジャー・テイラーが「Queen」の名を受け継ぐ形で活動を展開し、2005年からポール・ロジャースと組み「クイーン+ポール・ロジャース」として活動しているとのこと。

## 第4章

### ザッツ・エンタテインメント

「Queen」は1973年にデビューしたが、今から考えると1981年のモントリオールでのライブ公演時が彼らの絶頂期だったことが、この映画を観ているとよくわかる。

そんな『Queen Rock Montreal cine sound ver.』の良さは言葉では到底伝えられないこと明らかなだから、興味のある方は是非映画館に足を運んでもらいたい。

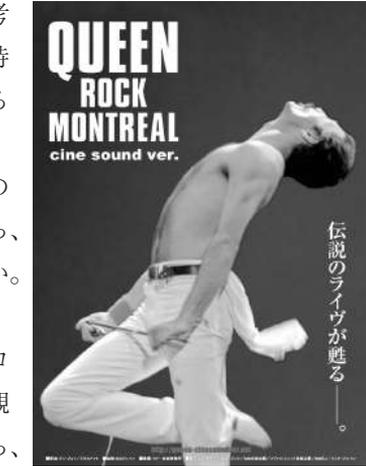
◆ ビートルズの楽曲33曲で構成された『アクロス・ザ・ユニバース』（07年）を私は7月2日に観たが、これは日本語訳の歌詞が表示されていたから、ビートルズの曲をよりわかりやすく聴くことができた。しかし、『Queen Rock Montreal cine sound ver.』

が少し残念なのは、歌詞が表示されないこと。もちろん、歌詞がわからなくてもその迫力や曲の美しさは変わらないが、やはりわからないよりはわかった方がベター。次には、何とか日本語訳の歌詞を表示してもらいたいものだが……。

◆ プロのミュージシャンが歌詞をきちんと覚えたり、楽器をまちがわないうで演奏するのは当たり前だが、何も見ないで一点の乱れもないまま95分間にわたってフルに歌



© 2008 「Queen Cinesoundsver.」  
All rights reserved



© 2008 「Queen Cinesoundsver.」  
All rights reserved

い、演奏する4人のミュージシャンのクオリティの高さにビックリ。

フレディ・マーキュリーの迫力ある歌唱力と演奏力には圧倒され続けるが、演奏力という点ではブライアン・メイもロジャー・テイラーも同じ。鑑賞後のあなたの感想が「すばらしい！」のひと言になることは、私が保証しよう。

2008(平成20)年7月5日記